

新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

協会創立40周年記念事業・中国の旅 その4

長白山脈を訪ねて

齊藤平七

成田空港でのPAX航空の遅れが尾を引いて隊は北京で二分されてしまった、が小生にとつては誠に幸いのことになった。本隊は明日正午に鉄路で到着と云う、空時間が出来たからである。

夕刻、通化に着いて次の列車待ちまでブドウ酒工場を見学、自慢の数種類を賞味したが、この工場は地下構で満州国時代の軍の国境警備の本部だったとか……。

昭和14年10月から15年6月まで奉天に機械据付けのため出張、整地建設据付等々、厳寒の工事で苦勞の想い出多い地だ。是非その工場を見たいと思つたので計画する。

白河駅への到着は早朝、しかも雨降りのなか、ローカル線と云つたら良いのかホームに屋根もなく、バスが来るまで保線区の軒下で暫くの雨宿りとなった。

雨の街を通訳の案内で出掛けたが、結果はあちこち捜して居るうちに時間切れで失敗。近くの縫製工場で聞いたら今はその工場は青果市場とか。

バスはぬかるみの道を白樺、ダケカンバの林道を登山基地へとヒタ走りに走った。

寝呆け眼で見る窓外の風景は、大広野と遠くの林ばかりで、どこを何線で走っているのかわからない一風情であったが、早朝暗いうちから乗り込んだ瀋陽へ通化への瀋吉鉄路の窓外風景だったかと思ひ出して苦笑いやら照れ臭いやらで一行を見やれば、雑談や

山招待所へは未だ日も落ちない時刻に着いて、いま見て来た長白瀑布が山間に眺見出来た。帰路での長白温泉は一番ぬるい処へ入って、これが温

泉かと源泉との温度差にビックリした。どこかでそれぞれ調節して居るらしい。

長白瀑布は白頭山天池から堂々たる形相で落下し岩を噛んで奔流し、白河となって松花江へと流れ込んで居る。そうなるこの長白天池が小天池、赤池等々温泉を含めて松花江の源流と云うことになる。

うの外なし。帰路はあつちで止まり、こちで止まりで写真撮って気をまぎらわし、小天池で気を落ち着ける。にしてもなんととも気がすまない、夕食時に、明日の行動前に時間を作って再行動、と云うことに意を決した。

招待所からは完全な登山道でバスは入らない。ジープに分乗して入山となる。天文峰の気象台までは立派なジープ道が出来て居て、白樺林、ダケカンバの林に黄花シャクナゲが床を敷いたように密生して、その間にトリカブトの紫色が一段とコントラストの効果果を上げていた。この効果も2400m位で途端に大草原に変化して、遠く溪間に残雪も認められたが間もなく一陣の突風は濃霧と風雨を伴つてお

4時行動開始、朝焼けの瀑布も、それを囲む山々も見事に眺められて勇躍とび出して行った。本当に朝食前の掛け事であり、3時間足らずの急行動で昨日の鬱憤を晴らした喜々とした顔が目に見えかんで来る。

突風は濃霧と風雨を伴つてお

安図へのバスは、運転士腕の見せ処と砂塵を巻いて高速運転、両側の水田は緑一色に良く生長して豊作をうら付けているようだ。道路脇の日まわり畑も万作か、やたらこの日まわりが多い。種を絞って油をとるのだそう。一望千里、集落らしい物も目に入らず、どこから出て来て植付け刈取りなどやるのか見当も付かない。たまにノンビリした馬車と逢う位だ。

長白山腹へ1300mの登山招待所へは未だ日も落ちない時刻に着いて、いま見て来た長白瀑布が山間に眺見出来た。帰路での長白温泉は一番ぬるい処へ入って、これが温

長春行の列車待ち、約3時間程安図で自由行動の時間を持った。ここは吉林省長白朝鮮族自治州で朝鮮人が多く、

また国境周辺は朝鮮人参の現産地でもある。市場など一巡野菜物が多く魚は川魚が主体である。若い女性はカラフルな洋装でハイヒール。若い奥さんもワンピースの子供の手を引いてのお買い物、男児に多少の中国服は見られたが、大体服装、はき物は西洋化して来ている。市場の母ちゃん、バアちゃんは工人服こそ着ていないが、昔の中国服のように見て来た。馬車屋は昔風の中国服で牛鼻をかみながらムチを振っていたのがむしろなつかしい。

長春は朝食と待ち時間の暇つぶし程度でハルピンへ向った。松花江の遊覧船で雨の中キヤビンから眺める。ソ連の建設都市だけにあちら風と満州時代の日本風とでなかなか立派な都市である。中洲の島へ渡る時間はないが、鉄道も走って別荘地になって居るとか。この大河にプール式に囲った大水泳場もあり、子供達が喜々として遊んでいるのがほほえましかった。一行の一人が、この川、信濃川より大きいろうかね、には一同大笑いの一幕もあり愉快なことこの上な



行かると安心。北京の故宮は補修修理等々か、一部のみの開扉で案内短時間で見れる。広場の写真も毛主席一枚となり、スキットした形だ。しかし矢張り見物人は多く、外人も多い。服装も西欧化している。万里の長城は完全の観光地、内外人を問わず押すな押すの八達嶺である。バスも停留所探して列をなし、見物人は押され押されて進み退くのトコロ天式の大混雑である。子供調制一人も止むなしか、農村部は男児、都市部は女兒を望むと聞かされた。玉府店は相変らずの人出で大賑やかである。こんなデパートでのつり銭が一般市場の如くクチャクチャのつり銭で財布へ入れるのが気はずかしい始末。しかしどこも服装は派手になって来た。レストランでの中国服の給仕には、やっとな中国へ来たと言う気分を味わった。

どの都市も建設ブームである高層ビルがバカスカ建ち、また工事中でもある。しかし今回もそうだったが、見てくれば良いが、水が湯が出ない、便器が埋る、電気が薄暗いで

附屬設備と云うか、それ等が全然ついて行けないと云う感じを強く受けた。以上報告まで。最後に創立記念と云うことで企画され、隊員、会員、心から深謝申し上げます。また、朱、李、包諸先生方皆様方のご協力とご声援によって曲りながらも事を終ったことを深謝します。

組倉山スキー登山に参加して

越後吉田山岳会 早川英夫

県山協の62年度最後の行事「組倉山スキー登山」は、29名の参加者のもとで、去る3月26・27日実施されました。会場が下越という場所的事情からか、参加のほとんどが下越・新潟地区よりで、私共吉田からは一番遠方組となりました。翌朝は夜来の雨で出発が遅くなったが、ようやく8時、雨上りを待って全員出発し、登山口よりスキーにシールを張り付け、登山開始しました。林道も最初は体馴らしにゆっくりと、次第に調子を上げ、急な登りもシールを利かせてぐんぐん高度を上げる。昨夜の雨は山では雪だったらしく、一面うっすらと新雪の銀世界。千メートルたらずの標高です。

が、高度を上げるにつれ樹木には霧氷の花が咲いている様は美事でした。

頂上直下の手強い急斜面を電光型に何回もターンしながらスキーを進めれば、眼下が急に開け、ようやく頂上に到着しました。雲間には時たま飯豊連峰が見え隠れする程天候は回復、二王子岳、焼峰山、五頭連峰の真白な姿が良く見渡せました。

続いて同胞の山崎君らの第二グループも到着したので、取って置きの缶ビールで乾杯中食を取っている内に遅れたグループも続々と到着し、約30分位休憩後、下山を開始。

登りにあれほど難儀した急斜面も、あつという間に滑りおろる。林間を縫うシユプーは心地良く、一気に下るには余りにももったいないので時々立止っては息入れる。林道の緩斜面でも、シールを外したスキーは程良いスピードで快適なツアーが続く、約3時間半を要した登りを、1時間ちょっとで下ってしまいました。

前回に比べ、積雪不足でコースコンディションの悪かった所もありましたが、それな

りに又、変化もあり結構楽しい山行でした。

前週の二王子岳に続き、今回も下越山岳会の皆様には大変お世話になり、山スキーの醍醐味を堪能させていただきました。

【参加者】新潟鉄工山の会(平田静一郎、北村猛、今井恒夫、川崎邦二、石田邦雄、浜本賢治、小熊健一)デラシネ山の会(吉野良介、長谷川

指導員研修会報告

指導委員会

三 富 一 弥

昭和62年12月6日、長岡市中央公民館で開催、県下の指導員52名参加でした。

室賀会長より海外登山情報、築木先生から「冒険の自由と責任について」の講演をいただいた。

午後からは、県警ヘリコプター「こしかぜ」の伊藤機長講師から、ヘリコプターによる救助の実際と救助の時のお願いの貴重な講演を拝聴する事ができた。

ヘリコプターでの救助の注意事項を簡単に記すと、

春美、高橋秀樹)悠峰山の会(佐々木敏郎、伝雅明、後藤邦子)秀峰山岳会(阿部孝幸)越後吉田山岳会(早川英夫、山崎幸和)笹神村うすゆき山の会(石山辰嗣、苅部一雄)豊栄山岳会(小林重弘、皆川満、丸山高司、寺尾孝之、本田敏夫)下越山岳会(五十嵐篤雄、杉原八百樹、高橋正英、齊藤宜雄、松尾賢二、矢沢和夫)

側に待機する。ヘリコプターの後方は最も危険である。又事故者は原則として、谷より尾根上で待機すると救助しやすい。「ヘリ」から事故者を発見しやすいのは、鏡のような反謝しやすいうり光り物。目立ちやすいカラフルな色彩物。木があれば木をゆする事も一方法である。

又「ヘリ」を要請する時、正確な情報が必要で、特に天候が左右する。雲、霧、雨の搜索は無理である。悪天候の場合の山中での救助待機は、登山技術より山での生活技術が必要で、生死を左右する。登山指導員は、登山技術を中心的に指導しているが、山中での生活技術を重点的に指導する必要がある。特に最近の登山者は「鉈」を持ち歩かない。「鉈」の使い方が解らない人が多い。鉈は山の中で生活技術の必携である事を力説された。以上

乗員は重量制限で機長を入れて5名、1月から4月迄は足にソリをつけるので4名、ヘリは空中に停止できるが、後風に弱い、吊上げはヘリの機械で可能だが両腕が健在者に限られる。担架は2段で2人の事故者を同時に収容することができ、ヘリコプターは完全着地しなければならぬので、風に向かって左側の3m x 10mの広さが必要で、少くとも直径3m余の広さを確保する必要がある。待機者も同じように風に向かって左

私達登山者には当り前の事であるのに、大事な基本的な登山の技術を指摘されたようない気がした。自然保護を叫ばれている最近、鉈は若い登山者にとって無用の長物となり

自分達の生命の究極の時、鉈をいかに上手に使いこなせるかによって、回避も可能であると思う。「鉈」技術は登山技術のルーツのような気がする。

又「ヘリ」から事故者を発見しやすいのは、鏡のような反謝しやすいうり光り物。目立ちやすいカラフルな色彩物。木があれば木をゆする事も一方法である。

登山技術より山での生活技術が必要で、生死を左右する。登山指導員は、登山技術を中心的に指導しているが、山中での生活技術を重点的に指導する必要がある。特に最近の登山者は「鉈」を持ち歩かない。「鉈」の使い方が解らない人が多い。鉈は山の中で生活技術の必携である事を力説された。以上

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

指導員座学研修会は毎年12月に実施されている。指導員総数143名、今回の出席数52名、淋しい限りである。県山協行事の一年間に12月の座学研修会と県山協主催の実技研修会が数多く企画されている。指導員は是非、積極的に参加して、指導力を発揮して協会の行事に協力して欲しいと願っている。

第27回全日本登山体育大会案内

- ☆ 期 日 昭和63年9月17日(土)～19日(月)
 ☆ 会 場 磐盤朝日国立公園 飯豊連峰 (47国体会場予定地)
 ☆ テーマ 『さあ登ろう、緑と雪の霊峰飯豊に』
 ☆ 日程・コース

月日	日程及び登山行動	備考
第1日 9月17日(土)	<p>案 内 JR米坂線 羽前椿駅 (受付場所へ徒歩3分) 駐車場 受付場所周辺にあり</p> <p>案 付 飯豊町白樺公民館 (参加者登録)</p> <p>パレード 白樺公民館～町民野球場</p> <p>開会式 飯豊町町民野球場</p> <p>連絡 役員紹介、他</p> <p>輸送 野球場～白川湖岸公園 (バス輸送)</p> <p>歓迎レセプション 白川湖岸公園</p> <p>宿泊 白川荘・とよさと荘・他</p>	<p>14:00～15:00</p> <p>L = 1,000 m</p> <p>16:00～17:00</p> <p>17:00～17:30</p> <p>17:30～18:00</p> <p>18:00～20:30</p> <p>20:30～21:00</p>
第2日 9月18日(日)	<p>起床 各 宿 舎 不用な荷物は宿舎より搬送しますので名札に記名して下さい。 尚、当日は全てのコースをサブ行動となります。</p> <p>A 班</p> <p>1 班 (切合コース) 白川湖岸公園 (5:00)～大日杉～地藏岳～お坪～切合 (昼食)～地藏岳～大日杉 (17:00)～バス輸送～小国町長者原に宿泊</p> <p>*健脚コース 飯豊連峰主稜線往復、途中黒井穴堰見学</p> <p>2 班 (地藏岳コース) 白川湖岸公園 (6:30)～大日杉～地藏岳 (昼食)～大日杉 (15:00)～バス輸送～1班に同</p> <p>*ゆったりコース 飯豊本山を目の前に眺めながら昼食</p> <p>B 班</p> <p>3 班 (石転びコース) 白川湖岸公園 (6:30)～飯豊山荘前～温身平～石転び沢出合い (昼食)～温身平～飯豊山荘前 (17:00)～バス輸送～長者原宿泊</p> <p>*のんびりコース 整備されたコースの中大雪溪目指してのんびり歩く</p> <p>4 班 (パノラマコース) 白川湖岸公園 (6:30)～泡の湯～展望台 (昼食)～温身平 (15:30)～バス輸送～長者原宿泊</p> <p>宿舎 梅花皮荘、川入荘、他</p> <p>*少々健脚コース 連峰の西側を眺めながら急坂にいどむ</p> <p>参与会 『梅花皮荘』</p>	<p>本部 白川荘</p> <p>18:00</p>
第3日 9月19日(月)	<p>A 班 温身平散策</p> <p>B 班 旭又滝散策</p> <p>集合 飯豊山荘前 11:00 バス輸送～小国町町民体育館 12:00</p> <p>閉会式 町民体育館</p> <p>解散</p> <p>JR小国駅 新潟方面 13:45 福島方面 14:12</p>	<p>7:30～10:30</p> <p>7:30～10:30</p> <p>12:30～13:00</p>

岩登講習会案内

技術委員長 平田大六

本年度の岩登講習会を左記のように実施しますので多数参加ください。

記

日時 昭和63年6月26日7時
場所 新発田市内ノ倉杉滝岩
指導事項 ギヤールの結び方(ブー

(1) リン結び、8の字結び、
インクノット、ブルージ
ック、テグス結び、ゼル
プスト8の字、テープ結
び、二重ブーリン)

(2) 用具(ゼルプストバン
ド、ヘルメット、カラビ
ナ、シュリンゲ、ハーケ
ン、ハンマー、手袋、ボ
ルト、8環)
(3) 登り方、フリークライ
ミング(三点支持、ホー
ルドスタンス、ルートフ
ァインデング、クライム
ダウン)

(4) 確保(肩、胴、グリッ
プ、半マスト、セルフビ
レイ)
(5) 懸垂下降(8環、肩が
らみ)
(6) 登はん(ブルージック
登はん、隔時登はん)

森谷周野氏を悼む

森谷さんの訃報をJR岳連から連絡で知ったのが4日の午後だった。昭和63年5月3日21時46分、胃がんのため入院先の新潟市民病院で亡くなられた。73才である。余りにも突然のことで戸惑い、耳

を疑った。今年の県山協の新年会で、協会創立40周年記念の講師に森谷さんをと云う声があったのだが……。思えば数年前から体調を崩され、いつかお目にかかったときも、やや薬ぶくれのお顔が大変気

- ☆ 参加資格
社日本山岳協力加盟団体の会員であること
加盟各岳連(協会)の承認を得た者
本大会の登山行動に耐えうる体力、技術を有する者
各都道府県からの参加は1名以上人数の制限は致しません
- ☆ 参加申込
申込方法
官製ハガキにチームの氏名、住所、年齢、連絡先電話、希望コースを付記して申し込みください。また、自家用車利用の方はその旨ご記入下さい。
- 申込先
〒940 長岡市学校町1-12-23
室賀輝男方 新潟県山岳協会宛
☎0258-32-0428
(協会までまとめて申し込みます)
申し込み者には折り返し要項を発送します
- 申し込み期日
昭和63年7月31日必着(協会メ切)
- ☆ 参加料等
参加者1名 23,000円
納入方法 申し込みと同時に銀行口座に振り込んで下さい
納入先 指定銀行 山形銀行小松支店
口座番号 224-0362166
口座名義人 全日山形大会
事務局長 清野 孝

- (7) 脱出
- (8) タイヤ落し
- 班編成と指導内容
A班(未経験者)(1)~(6)
B班(A・Cの中間)(1)~(6)
C班(経験者)(4)~(8)
- 携行品、岩登に必要な用具
ゼルプストバンド、カラビナ2、ヘルメット、シュリンゲ用ロープ4(φ6mm、15m×2、20m×2)、手袋、エリのついた上衣、ハーケン、ハンマー、8環、各パーティーでロープ
- いつもお願いしておりますが、事前の申込みを正確にしていたくよう協力ください。
- 夜祭を計画しています。
- 参加費 5000円
申込 ハガキに氏名、年齢、住所、所属を明記して6月20日必着。
〒959-132
岩船郡関川村小見237
平田大六研究所 宛
- 新潟シニアアルペンクラブ
会員 6名
新潟市本所2204
代表者 吉野良介
電話 0251-27612097
- 新入会員紹介

がかりであった。

何時でもお逢い出来ると思
っていただけに、お聞きした
いこと、教えて欲しいことが
果せず残念である。

毎年手造りの美しい絵ハガ
キの年賀状に、奥様と連名で
戴くのだが、今年はその賀状
がなかった。話によれば年末
から入院で、三月からは食
事も通らず、リンゲルで生命
を保つ闘病生活であったと聞
く。

6日、東竜ヶ島のセレモニ
ーホールで300人を超す会
葬者の悲しみの中で、神式に
よる告別式が行われた。

晩年の森谷さんは山岳人と
してよりは、新潟県民俗学会、
県自然保護審議委員、県、市
町村史の編さん、県文化財保
護審議委員など数多くの公職、
役職につかれ、その中心的重
責を担い果された。その足跡
はそれ等の関係者の記述に譲
るとして、告別式場に飾られ
た各界からの献花の中央に、
高松宮家からの供花が物語る
ように、山スキー歴の深い森
谷氏は、戦後高松宮様を、苗
場山、守門岳、妙高山、浅草
岳と数多く県内の山スキーに
ご案内申し上げ、県内で森谷

氏を除いては、宮様を語るこ
とが出来ない第一人者である

ことを記述せねばなるまい。
宮様と親しく、個人的に宮家
を訪ね出来る、県内で数少い
スポーツ関係者であった。

山岳協との関係を持たれる
ことは余りにも少く、ただ日
本山岳会員、新鉄岳連として
協会の組織に連携はあったが、
行事への参加、豊富な知識、
技術のご指導の機会がなかつ
たことは余りにも残念であつ
た。

昭和20年代中頃から全国的
に岳連の結成機運が起り、
20年代末期には全国組織統一
機運が澎湃として起きたとき、
新潟県山岳連盟結成の旗頭と
して奔走されたが、藤島玄氏
を中心とする既存の新潟県山
岳協会の人脈組織は固く、昭
和30年5月全岳連発会式も迫
りこれに対応した当時の全岳
連の応援も空しく、遂に新潟
の牙城の切崩しの悲願は不調
に終わったことは、氏にとつて
終生の無念であったように思
われる。爾來協会の土俵を踏
まれることがなく、ただ全岳
連草創期に資格として付与さ
れた、指導員制度に名誉指導
員としてその名を協会名簿に

止めている。

氏は大正3年、北蒲原郡加
治川村に生れ、新発田中学時
代は、水泳の森谷として近隣
にその名を馳せた強者と聞く。
山との出会いが明大に進まれ
てから本格的に取組まれたよ
うである。

ただ氏が6才のとき、小学
校校長であった父が飯豊山で
遭難された。当時新発田から
赤谷を経て飯豊川を溯る登山
道は、湯の平温泉まで、あ
とは道形もなかった。この難
コースに向った父と同僚の二
人は、どのコースを辿ったか
定かでなく、同僚一名の遺体
が発見されたまま今日に至つ
ている。

氏が飯豊山を聖地とされた
山への情熱も理解出来るので
ある。長身でうつむき加減に
ビッケルを抱え、大股に歩か
れる森谷さんに、何処かの駅
のホームでまた出合うように
思われてならない。
心から冥福を祈るものであ
る。

県スポーツ

振興基金

賛同者

新山協ニュース等で協力依
頼をいたしましたところ、次の方
々から賛同を得ましたので報
告します。

室賀輝男、小林兼一郎、望月
力、以上2口。斉藤平七、桑
原悌治、久保敏男、藤井信、
今成幸夫、吉野良介、山田智
子、遠藤家之進正和、鈴木敏
雄、土田幸雄、杉本敏、石田
国夫、田中純夫、以上1口。
今後引続き募金をします
ので、各位のご協力をお願い
します。

1口5000円で、協会事
務局でとりまとめ一括して県
体協へ納入します。
振込先 県山協口座
第四銀行長岡駅東支店
普通 1116600

退会

新潟県山岳協会長

室賀輝男

新鉄山の会

(旧 新鉄山岳連盟)

読書は万能の基

新潟市営所通 1-301

学生書房

電話 025-222-9870番

教習種目 大型・普通 (第1種) 大特
自二輪・身障者用各種自動車

中条自動車学校

北蒲原郡中条町大字高野字茨島

中条 (0254) 44-8071

社長 高野愛子